

「地球環境の共進化 ～私たちはどこから来て、そしてどこへ向かうのか～」

2015年11月11日(水)ノワークピア横浜

第 34 回マネジメントセミナーは、東京工業大学地球生命研究所特命教授・岡山大学特任教授の丸山茂徳氏を講師にお招きし、「地球環境の共進化」というテーマでご講演をいただいた。



当日は約 80 名の参加者が会場に集まり、大学の講義を思わせるようななかで、生命誕生に関する諸説や“いかにして生命が誕生に至ったか”など、丸山教授の分かり易い説明に聞き入った。

また、講演の後半では箱根山の噴火に関しても触れられ、「箱根は地下の活動が活発化しているものの、ガスが出続けている限りは大きな噴火にはならないと思われる」との解説があり、さらに、神奈川県地域経済の今後の課題についても、地方創生の観点から貴重なご提言をいただいた。

最後の質疑応答は、丸山教授と会場との公開意見交換会という様相で、質問が相次ぐなか、予定の時間いっぱいまでいって終了となった。

参加者アンケートでは、「幅広いお話に圧倒された」「新しい視点からのお話はとても興味深く、ものの見方が参考になった」などの感想があった。

なお、講演会後の懇親会についても丸山教授にご参加いただき、さらなる意見交換で盛り上がり、こちらも予定時間までいって閉会となった。

【講演要旨】

・生命がどこで誕生したかについては諸説あるが、我々の研究では「間欠泉」であると考え。自然の原子炉のようなところで、不安定な状態の分子が様々な化学反応を繰り返した結果である。いま、論文としてまとめているところで、改めてご披露したい。

・皆さんがご心配の箱根だが、カルデラの大きさからすると、噴火の規模は決して大きくなく、また現在の科学の力から、噴火の予知は可能。

・世界の人口は 2050 年まで増える(70 億人→100 億人)が、食糧不足が極めて深刻になる。品種改良や生産速度の加速や新たな食糧の開発が課題。

・地方創生を効果的に進めるには、地方の知恵も重要だが、トップダウンとボトムアップを組織的にシステムチックに組み合わせることが大切。

・例えば、「微生物ビジネス」というのは比較的新しい分野ではあるが、すでに皆さんの身の回りにも浸透しつつあり、これからさらに成長の可能性のあるエリアである。

・神奈川には京浜工業地帯もあり、海もあり、山もある、また、大消費地でもある、こうした神奈川の利点をぜひ有効に活かしていけば、まだまだ魅力的な地域としてアピールできると考える。